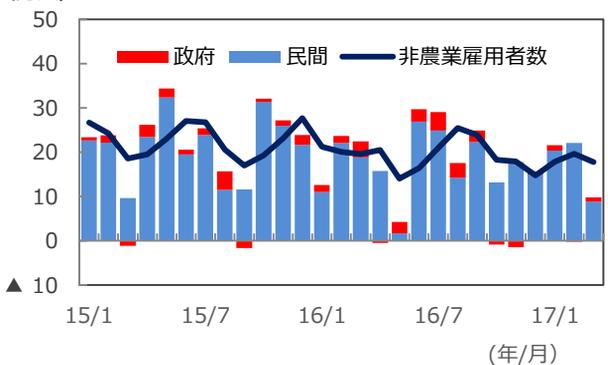


## 今日のトピック 増勢を維持する米国の雇用統計（2017年3月） 雇用の伸びは鈍化するが、天候要因による一時的な現象

### ポイント1 雇用者数は9.8万人増 天候要因による一時的な鈍化

- 2017年3月の非農業部門雇用者数は前月比9.8万人の増加にとどまり、市場予想（ブルームバーグ集計）の同18.0万人増を下回りました。
- 暖冬の影響で、前月の雇用者数が押し上げられた反動によると考えられます。雇用の増加ペースを、3カ月移動平均で測ると+17.8万人となります。雇用の拡大基調に変化は見られません。

【非農業雇用者数の推移（前月比増減）】

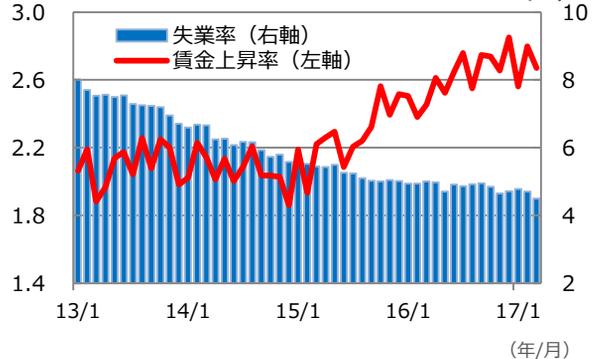


(注) データの期間は2015年1月～2017年3月。非農業雇用者数は前月比増減の3カ月移動平均。  
(出所) 米国労働省のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

### ポイント2 失業率は大幅に低下 賃金は緩やかに増加

- 失業率は前月比0.2%ポイント低下の4.5%でした。約10年ぶりの低さです。労働力人口（労働供給）は増えましたが、それを大幅に上回るペースで労働需要（就業者数）が拡大したためです。
- 他方、賃金は前月比0.2%増となり、市場予想に一致しました。前年同月比では2.7%増となります。失業率の改善が示す通り、労働需給は引き締まっています。今後も、賃金は緩やかな増勢を維持する見込みです。

【賃金上昇率と失業率】



(注) 賃金上昇率、失業率は2013年1月～2017年3月。  
(出所) 米国労働省のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

### 今後の展開 株価は堅調な展開へ

- 雇用統計が公表された4月7日の米債券市場では、雇用の伸びが予想外に鈍化したことを受け朝方、利回りが低下しました。その後、①市場の注目が失業率の大幅改善に移り、また②米連邦準備銀行（FRB）の高官から金融緩和の度合いを低減するとの示唆があった等から、米金利は上昇に転じました。米国のシリア攻撃もあり株価は下落、外為市場では米ドルが買われました。
- 米国の景気、雇用は拡大基調を維持していますが、賃金上昇率は未だに加速しておらず、物価の上昇は緩慢と予想されます。このため、今後の利上げも緩やかに行われ、年内はあと2回程度にとどまる見込みです。これらを受け、債券利回りは、しばらくはレンジ内での推移となりそうです。一方、株価は景気・企業収益の拡大を織り込む展開になると見られます。

ここも  
チェック! 2017年4月7日「FOMC議事要旨」と金融政策（米国）  
2017年4月6日 米国企業業績と株式市場の見通し

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。